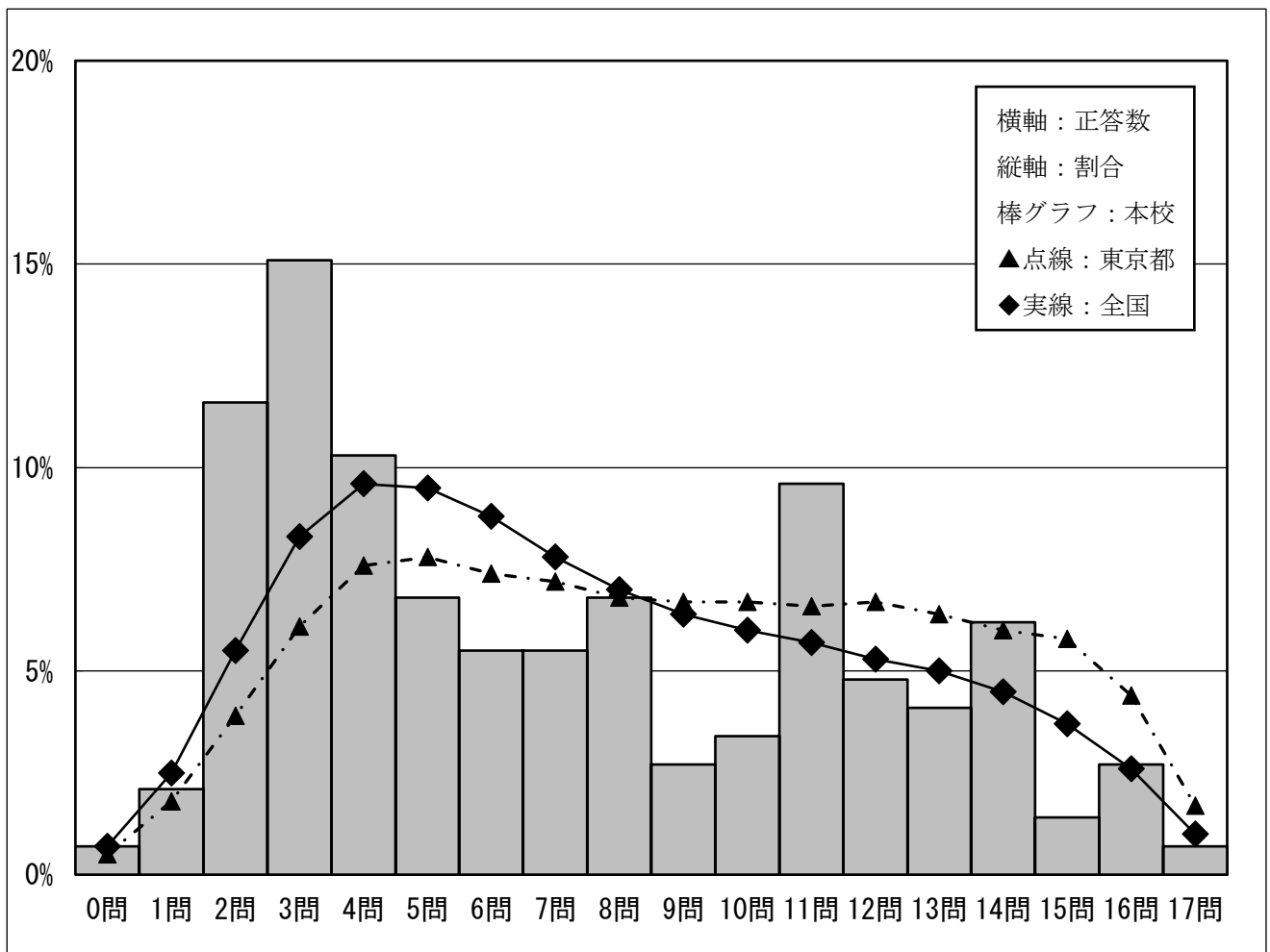


# 令和5年度 全国学力調査（中3対象）の結果より

## 英語



学習指導要領の5領域（「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと（やり取り）」、「話すこと（発表）」、「書くこと」）のすべての領域において東京都、全国ともに平均正答率を下回っているが、「書くこと」の領域である「与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして、会話が成り立つように英文を完成させる問題」、「学校生活（行事や部活動など）の中から紹介したいものを1つ取り上げ、それを説明するまとまりのある文章を書く問題」においては全国平均を上回っている。日常的な話題について、自分の考えを整理して文章を書く活動を取り入れ、さらに力が伸びるように指導していく。

一方で、「読むこと」の領域では「状況を描写する英文を読み、その内容を最も適切に表しているグラフを選択する問題」、「事実や考えが書かれた英文を読み、考えを表している英文を選択する問題」についての正答率が特に低い。文章中から必要な情報を正確に読み取って活用する力の育成を心がけていく。また、日常的な話題や社会的な話題についての短い文章の概要をとらえる力の育成にも力を入れていく。「読むこと」の力は一朝一夕では身につかない。年度当初から取り組んでいる英文読解の帯活動を継続するとともに、英語を読む「時間と量」を段階的に増やして指導していく。